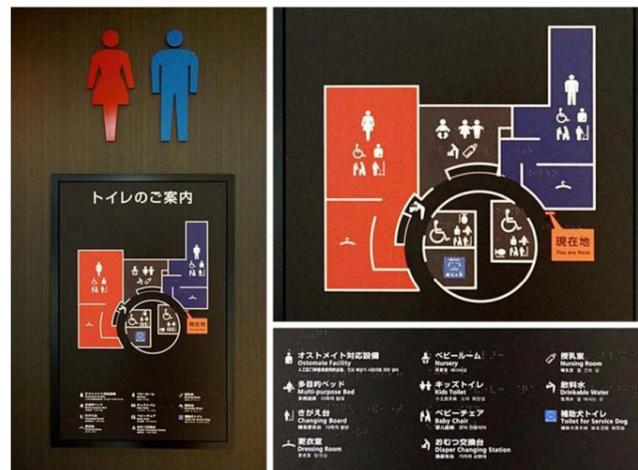


トイレ入口



施設内の待ち合わせスポットとしての機能を担っているトイレ入口は、人目を引くシンボリックなデザインが特長。

トイレサイン



トイレ入口には、ユニバーサルデザインに配慮した触地図を掲示している。

女性トイレ 車いす対応ブース



多機能トイレの機能分散化を図るために、一般トイレ内にも車いす対応ブースを1ヶ所設置している。

女性トイレ オストメイト対応ブース



多機能トイレの機能分散化を図るために、一般トイレ内にもオストメイト対応ブースを1ヶ所設置している。

トイレ通路



ゆったりとトイレ待ちができる配慮としてはもちろん、施設内の待ち合わせスポットの機能として、通路にはベンチを設置している。写真左手に見える扉は、多機能トイレの出入口。

多機能トイレ



多機能トイレは、左右勝手違いで2ヶ所設置。さまざまな使用者を想定して、収納多目的シート、ベビーチェア、フィッティングボードなどを完備している。

女性トイレ パウダーコーナー



白を基調とした上品で華やかなパウダーコーナーは、シットイングタイプとスタンディングタイプの2種類を用意。また、中央に配置されたほっと一息つけるベンチで、ゆったりとした時間を過ごすことができる。

女性トイレ パウダーコーナー



座ってゆったりお化粧直しできるシットイングタイプでは、重厚な間仕切りにより、プライベート感を演出。電源コンセントも用意されている。

女性トイレ 洗面コーナー



水濡れを心配せずに荷物を置くことができるように、ドライゾーンのあるツインデッキカウンターを採用。手洗い後の床への水垂れを抑えるために、洗面器の間にクリーンドライを設置している。

女性トイレ 大便器コーナー



すべての大便器ブースは、スーツケースを持ったまま入ることができるように、広いスペースを確保。扉は折戸を採用し、扉の内側と外側の色を変えることで、ブースの空き状況がひと目で分かるようにしている。

女性トイレ パウダーコーナー



スタンディングタイプのパウダーコーナーには、化粧ポーチなどの小物を置くことができる棚と、足元に大きな荷物を置くことができる棚を2ヶ所設置している。

女性トイレ 更衣室



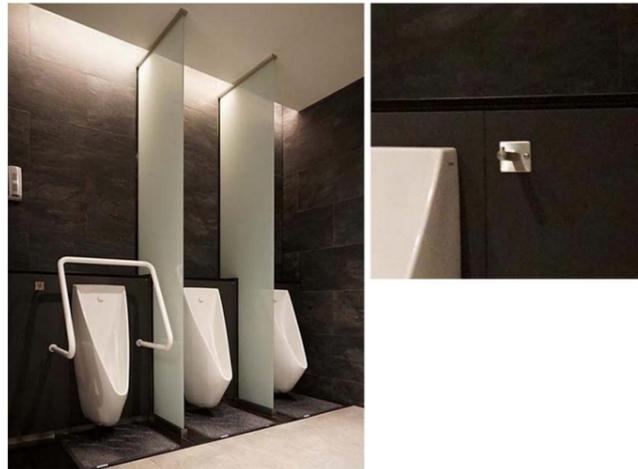
靴を脱いで上がって着替えることができる更衣室を用意。コートや着替える服などが掛けられるフックを2ヶ所設置している。

男性トイレ 全体



到着ロビーのトイレは、車いす同士のすれ違いへの配慮のほか、大きな荷物を持った旅行者が利用するため、ゆったりとしたつくりになっている。

男性トイレ 小便器コーナー



床の清掃性に優れ、お子様も使いやすい壁掛式の低リップタイプ小便器を採用。小便器の間仕切りを天井まで立ち上げ、個室感を演出。小便器横には傘や荷物が掛けられるフックを取り付けている。

ベビールーム オムツ交換コーナー



おむつ替えコーナー、調乳コーナー、授乳室を完備したベビールーム。壁面には、大空を飛び飛行機が描かれ、楽しい雰囲気を出している。

ベビールーム 授乳室



施錠できる個室の授乳室を完備。緊急時対応として、呼出ボタンを取り付けているので、安心して過ごすことができる。

男性トイレ 大便器ブース



大便器ブースは、男女トイレともすべてのブースに、スーツケースごと入れるスペースを確保。また、小さなお子様連れの方に配慮して、ベビーチェアとフィッティングボードも完備している。

男性トイレ グルーミングコーナー



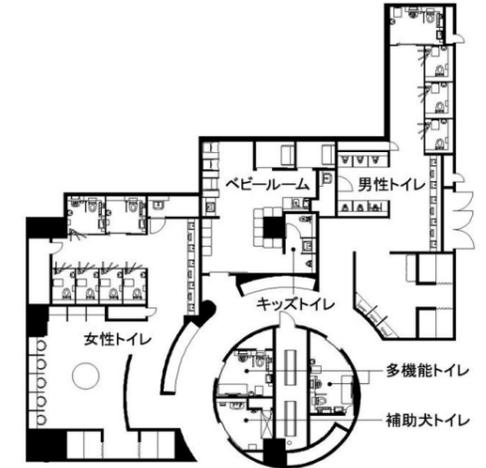
男性トイレにも身だしなみ配慮として、全身鏡と棚を備えたグルーミングコーナーを設置。黒を基調とし、重厚感を湛えたシックな空間。

補助犬トイレ



補助犬(盲導犬・介助犬・聴導犬)専用トイレを設置。入口横のインターホンを押した後、スタッフが解錠して使用することができる。

トイレ図面



男性トイレ 更衣室



男性トイレにも靴を脱いで上がって着替えることができる更衣室を用意。更衣室手前には、ほっと一息つけるベンチを設置している。

キッズトイレ



幼児用の大便器と小便器を採用し、お子様が使いやすい高さに洗面器を設置。お子様が楽しく使えるように、カラフルな内装にしている。

建築概要

名称	羽田空港国内線第1旅客ターミナルビル
所在地	東京都大田区羽田空港3丁目
施主	日本空港ビルディング株式会社
設計	株式会社梓設計
施工	大成建設株式会社
竣工年月	(改修)2016年3月

水まわりの特長

<改修の経緯>
 これまでのビジネス客中心から、拡大する訪日外国人観光客に向けた対応にも強化し、当施設の南ウイング中央トイレを、施設のモデルトイレと位置づけ、スペースを拡張、空間デザインやレイアウトも一新した。お客様から要望が高い、授乳室、キッズトイレや、男女トイレ内にパウダーコーナーと更衣室を新設。その他、補助犬トイレ、多機能トイレも完備し、誰もが使いやすいユニバーサルデザインを採用した、機能的で利便性の高い、これからのグローバルスタンダードとなるモデルトイレを実現した。

<トイレの特長>
 ユニバーサルデザインの考えのもと、多機能トイレのほか、一般トイレ内もさまざまな方々が安心して使用できるように、車いす、オストメイト対応ブースを設置。通路幅は車いす同士がすれ違いできる広さを確保した。改修前には和式便器を残していたが、時流にあわせてすべて洋式化し、ウォシュレットを完備。器具は清掃性を重視しシンプルですっきりとしたデザインを選定。大便器と小便器、多機能トイレはRESTROOM ITEM 01を採用。洗面器はツインデッキカウンターを採用し、洗面器の間にクリーンドライを設置することで床の清掃性にも配慮している。